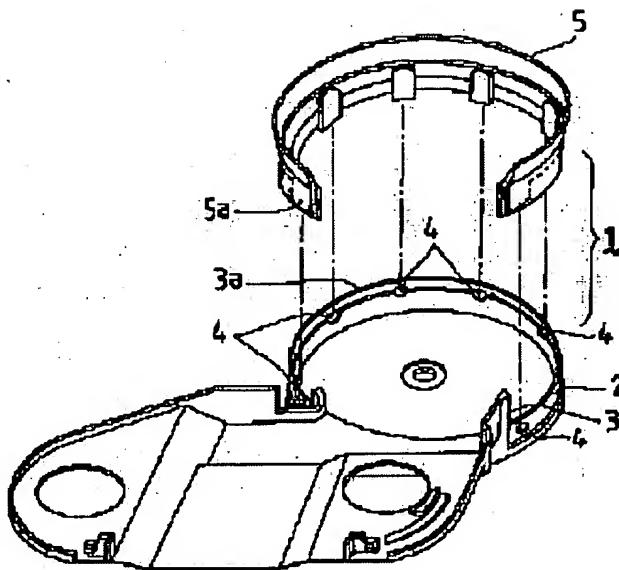


BEST AVAILABLE COPY**COVER FOR AUTOMOBILE SEAT RECLINER**

Patent number: JP9276063
Publication date: 1997-10-28
Inventor: KAWAMURA SHUICHI
Applicant: KAWAMURA KAKO KK
Classification:
- **international:** A47C1/024; B60N2/44; A47C1/022; B60N2/44; (IPC1-7): A47C1/024; B60N2/44
- **european:**
Application number: JP19960095353 19960417
Priority number(s): JP19960095353 19960417

[Report a data error here](#)**Abstract of JP9276063**

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate trouble of assembling work and enable quick supply with reduced cost by unitedly forming a covering member, which covers a gap for moving an arm of reclining mechanism, with a recliner cover which covers an automobile seat reclining mechanism. **SOLUTION:** A notch part 3 is formed on the specified position of a periphery 2 of a recliner cover 1 formed like a lid, and pierced holes 4 are formed on the periphery 2 where the notch part 3 is formed. A resin with flexibility like elastomer or the like is stuck from outside and inside of the periphery 2 to fill the pierced holes 4. And a covering member 5 with flexibility is formed unitedly and continuously on the periphery 2 so as to fill the notch part 3 with the resin.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-276063

(43)公開日 平成9年(1997)10月28日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 47 C 1/024

A 47 C 1/024

B 60 N 2/44

B 60 N 2/44

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全4頁)

(21)出願番号

特願平8-95353

(71)出願人 592168289

河村化工株式会社

(22)出願日

平成8年(1996)4月17日

大阪府大阪市平野区加美北1丁目24番12号

(72)発明者 河村 秀一

大阪市平野区加美北1丁目24番12号 河村
化工株式会社内

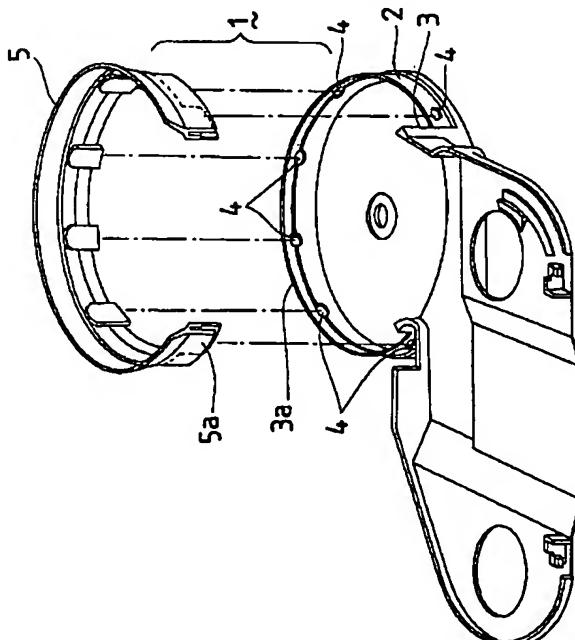
(74)代理人 弁理士 鈴木 ハルミ

(54)【発明の名称】自動車シートのリクライナーカバー

(57)【要約】

【課題】自動車シートのリクライニング機構を覆うリクライナーカバーに、リクライニング機構のアームが移動するための隙間を塞ぐ被覆部材を一体的に成型することにより、煩わしい組立作業を不要とし、迅速に供給できるようにすると共に、コストダウンをはかる。

【解決手段】蓋状に形成されたリクライナーカバー1の周縁部2の所定位置に切欠部3を形成すると共に、この切欠部3を形成した個所の周縁部2に複数の透孔4を設けた。そして、この透孔4を塞ぐように周縁部2の表裏からエラストマー系など、柔軟性を有する樹脂を付着させ、この樹脂で前記切欠部3を塞ぐように柔軟性を有する被覆部材5を前記周縁部2に連続して一体的に形成した。



BEST AVAILABLE COPY**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 周縁部を内方に湾曲させた蓋状に形成され、シートクッションの後端でシートバックを前後傾動可能に支持するリクライニング機構を覆うように取り付けられる自動車シートのリクライナーカバーにおいて、リクライニング機構のアームの傾動範囲にわたってこのアームに相対する周縁部に切欠部が形成されると共に、この切欠部を塞ぐように柔軟性を有する樹脂からなる被覆部材が、前記周縁部に連続して一体的に形成されたことを特徴とする自動車シートのリクライナーカバー。

【請求項2】 被覆部材が連続した周縁部に通孔が形成され、被覆部材の基端側がこの通孔を貫通して周縁部の表裏に一体化に接合されていることを特徴とする請求項1記載の自動車シートのリクライナーカバー。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、自動車シートのリクライニング機構を覆うようにシートの後部側面に取り付けられるリクライナーカバーに関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に自動車シートは、シートクッションの後端でシートバックを前後傾動可能に支持するリクライニング機構が設けられ、着座者の体格や好みなどに応じてシートバックを傾動できるようになっている。このリクライニング機構を覆うようにシートの後部側面に取り付けられるものが、リクライナーカバーである。

【0003】 従来、このリクライナーカバー10は、図6に示すように周縁部13の所定位置に切欠部14を設けると共に、この切欠部14の内側にビス固定用のボス部15を設けた合成樹脂性のカバー本体11と、前記ボス部15に対応する位置に、透孔17aを有する突部17を設けたゴム製の被覆部材12とからなり、この突部17を前記ボス部15にビス16で固定することにより被覆部材12をカバー本体11の切欠部14に取り付けることとしていた。

【0004】 そして、このリクライナーカバー10は、図7に示すようにシート20の後部側面においてリクライニング機構(図示せず)を覆うように取り付けられることにより、切欠部14がリクライニング機構のアーム23の前面に位置して、このアーム23が傾動するための間隙を形成すると共に、被覆部材12がこの傾動のための間隙を隠蔽し、このことでシート20の外観を向上させると共に、衣服などの巻き込みによるグリスの付着や指づめなどの事故を防止するものである。

【0005】 なお図7において符号24は、リクライニング機構の操作レバーを示す。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来のリクライナーカバーでは、合成樹脂製のカバー本体と、ゴム製の被覆部材の他にこの被覆部材をカバー本体に取り付け

るための複数のビスを必要とし、部品点数が多く、在庫管理が煩わしかった。また、その組み立ても複数カ所をビス止めしなくてはならず、煩わしく、必要時に迅速に対応できないばかりか、この組立作業コストが完成品のコストを押し上げる要因になるという問題点を有していた。

【0007】 本発明は、上記従来のリクライナーカバーが有していた問題点の解決を課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 前述した課題を解決するために本発明のうちで請求項1記載の発明は、周縁部を内方に湾曲させた蓋状に形成され、シートクッションの後端でシートバックを前後傾動可能に支持するリクライニング機構を覆うように取り付けられる自動車シートのリクライナーカバーにおいて、リクライニング機構のアームの傾動範囲にわたってこのアームに相対する周縁部に切欠部を形成すると共に、この切欠部を塞ぐように柔軟性を有する樹脂からなる被覆部材を前記周縁部に連続して一体的に形成したことを特徴とするものである。

【0009】 また請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明の構成において、被覆部材が連続した周縁部に通孔を形成し、被覆部材の基端側がこの通孔を貫通して周縁部の表裏に一体化に接合するようにしたことを特徴とするものである。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、実施の形態を図示例に基づき説明する。

【0011】 図1は、本発明に係るリクライナーカバーの分解斜視図、図2はその完成状態の裏面図、図3は図2のA-A線断面図である。

【0012】 図示したように本発明のリクライナーカバー1は、従来のカバー本体と同様に、周縁部2を内方に湾曲させた蓋状に形成され、この周縁部2の所定個所に切欠部3を形成したものである。この切欠部3は、リクライナーカバー1を図5に示すようにシート20に取り付けた際に、傾動するリクライニング機構のアーム23に相対するように設けられている。

【0013】 ここにおいて本発明のリクライナーカバー1では、切欠部3を形成した個所の周縁部2に複数の透孔4を設け、この透孔4を塞ぐようにその表裏からエラストマー系の樹脂や塩化ビニルなどの柔軟性を有する樹脂を付着させ、この樹脂で切欠部3を塞ぐように被覆部材5を前記周縁部2に連続させて一体的に形成している。(図4参照)

なおこの樹脂による被覆部材5の形成は、従来のカバー本体と略同様のものを予め合成樹脂あるいは金属で形成しておき、これにインサート成型などの手段を用いてなされる。

【0014】 このようにして形成されたリクライナーカバー1は、図5に示すように従来のものと全く同様にシ

ートクッション21の後端でシートバック22を前後傾動可能に支持するリクライニング機構(図示せず)を覆うようにシート20の後部側面に取り付けられ、切欠部3に沿ってシートバック22を保持したリクライニング機構のアーム23が傾動する際に柔軟性を有する被覆部材5が、このアーム23の傾動を妨げることなく、切欠部3とシート20との間隙を塞ぎ、シート20の外観を向上させると共に、衣服などの巻き込みによるグリスの付着や指づめなどの事故を防止するものである。

【0015】なお上記では、切欠部3を設けた周縁部2に透孔4を設け、エラストマー系などの柔軟性を有する樹脂で形成される被覆部材5の基端側5aが、この透孔4を介して表裏から接合し、その接合がより確実になされるようにした例を示したが、被覆部材5は切欠部3の端縁3aに連続してこの切欠部3を塞ぐように形成されれば良く、その接合部分の構造は、図示例に限るものではない。

【0016】また本発明の自動車シートのリクライナーカバーは、切欠部3に設けられる被覆部材5を、エラストマー系などの柔軟性を有する樹脂で一体的に形成している点に特徴を有しており、同様の構成であれば、カバー自体の形状は、どのようなものであっても良く、図示した例に限るものではない。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のうちで請求項1記載の発明は、リクライナーカバーの切欠部に被覆部材を一体的に連続形成しているので、従来のもののように部品の管理や組み立ての煩わしさがなく、必要なときに迅速に対応できる。また、部品点数が削減される

と共に人件費を要する組立作業工程が省略されることにより、コストが大幅に引き下げられ、安価に提供できるようになる。

【0018】請求項2記載の発明は、切欠部に連続形成される被覆部材を、その基端側が切欠部を形成した周縁部の表裏からこの周縁部に形成された透孔を貫通してこの周縁部に一体的に接合させることにより、被覆部材のより確実な接合をはかり、上記請求項1記載の発明の効果に加えて耐久性、信頼性、品質の一層の向上がはかられるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るリクライナーカバーの実施形態を示す分解斜視図である。

【図2】図1に示したリクライナーカバーの完成状態を示す裏面図である。

【図3】図2のA-A線断面図である。

【図4】実施形態の要部拡大断面図である。

【図5】リクライナーカバーの取付状態を示す自動車シートの斜視図である。

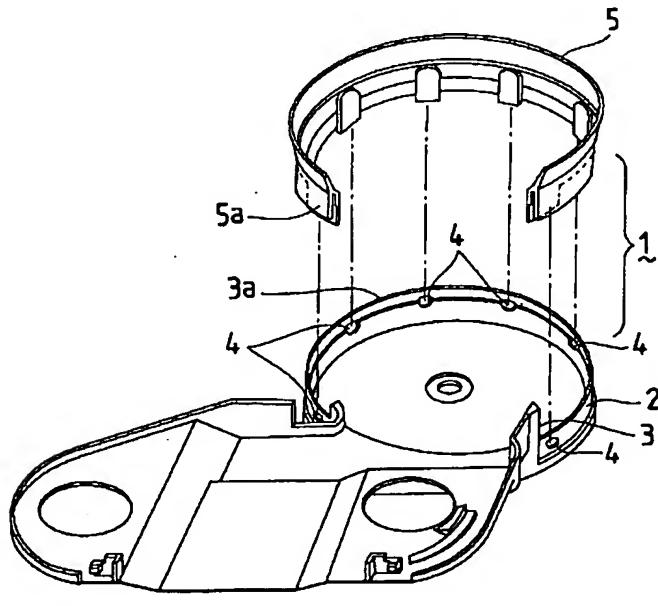
【図6】従来例の分解斜視図である。

【図7】従来例に示したリクライナーカバーの取付状態を示す自動車シートの斜視図である。

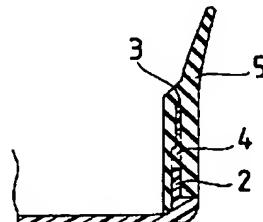
【符号の説明】

- 1 リクライナーカバー
- 2 周縁部
- 3 切欠部
- 3a 切欠部の端縁
- 4 透孔
- 5 被覆部材

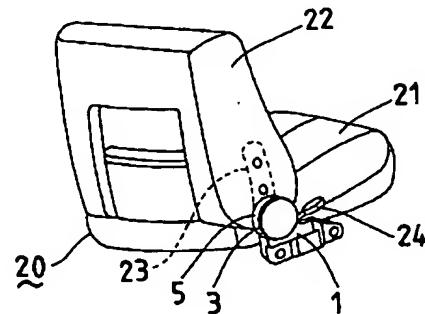
【図1】



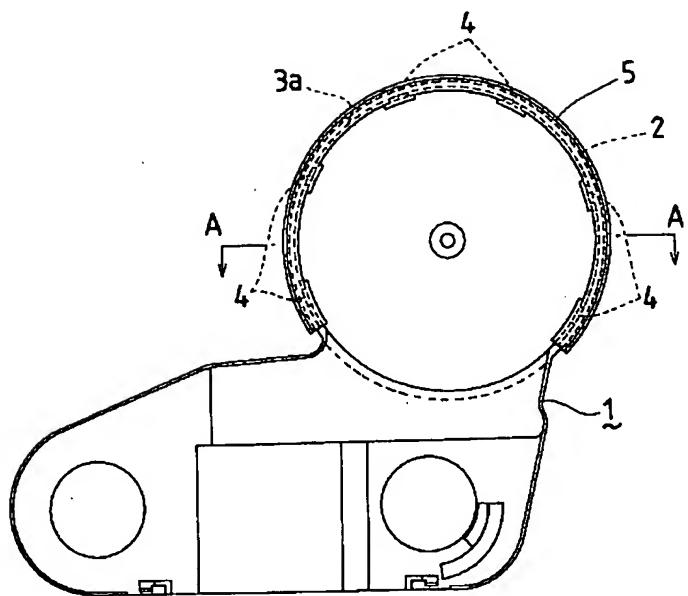
【図4】



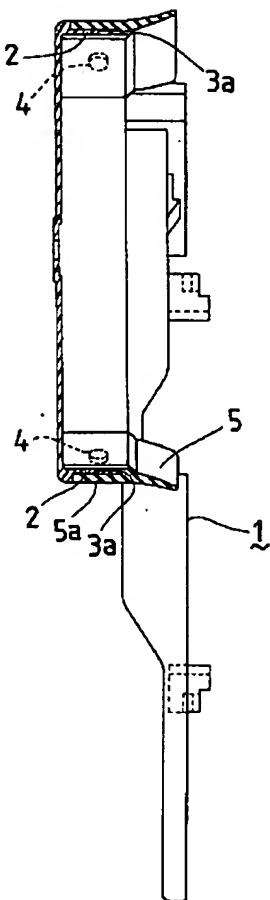
【図5】



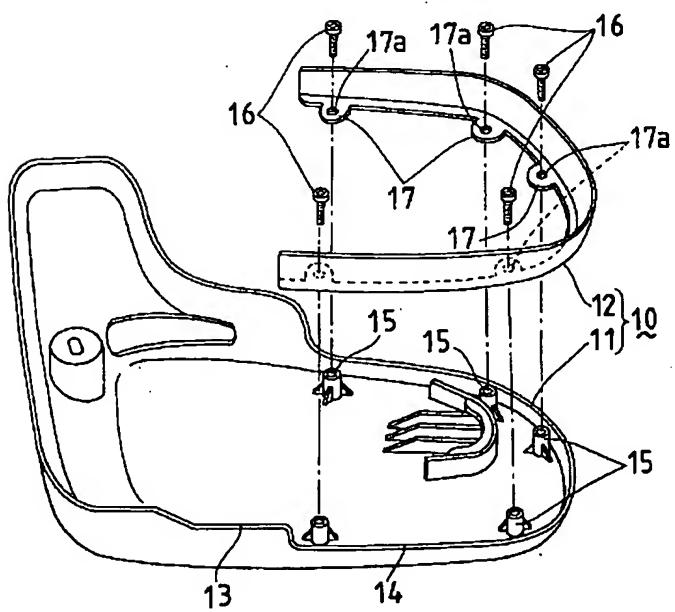
【図2】



【図3】



【図6】



【図7】

